



二輪草だより

センターの活動予定

- ◆2月28日(月)～3月4日(金) 潜在看護師のための復職支援研修開催
- ◆3月28日(月) 二輪草プラン推進委員会議
- ◆3月末日 二輪草だより3月号発行

「旭川市男女共同参画シンポジウム」参加報告



副センター長 山本 明美

2011年2月20日旭川市民文化会館において旭川市主催のシンポジウムがありました。テーマは「イクメンのススメ～家族が笑顔になるために」。講師は厚生労働省のイクメンプロジェクト推進チームの座長、安藤哲也さん。3児の父であり、2006年に父親の育児支援を行うNPO法人Fathering Japanを立ち上げられた方です。

安藤さんは1時間余りにわたって軽妙なトークで会場を沸かせながら、今は父親が子育てに積極的にかかわっていかなくてはならない時代であることを語られました。日本は子育て期の男性の勤務時間が長く、過労、うつ、自殺が増えています。定時に帰って子供と接する時間をつくるのが容認される社会にしていくことが家族みんなに良い結果をうむと話されていました。

身振りを交えて語る安藤さん

また専業主婦として子育てを1人で背負っている母親には、育児に非協力的な夫への不満、自分の社会的拒絶感などで悩んでいる方が多いそうです。しかも晩婚化がすすんでいるため育児と親の介護の負担が同時にかかる家庭も増えているという現実があります。育児や介護に全く協力しない夫へは愛情もなくなり、熟年離婚につながるおっちゃんっていました。

父親不在と母親の可干渉によって子供は自立が阻害されます。父親に認められなかったことがきっかけで反社会的になり重大な犯罪をおかした例の話には恐怖をおぼえました。子供を健やかにそだてるためにも父親が育児にかかわっていくことは重要なことと強調されていました。

旭川医大がこれから益々、職員の子育てや親の介護に理解のある働きやすい職場であるように、二輪草センターも活動していきたいとおもいます。

お父さんが作るキャラクター弁当

お子さんと遊んだり、お風呂に入れたり、食事を作ったりと育児や家事に積極的に参加しているお父さんはたくさんいると思いますが、お弁当作りとなると手間暇がかかり頭を悩ませてしまうものです。今回は奥様が出産入院中に、お子さんのために5時起きをしてお弁当を作った皮膚科、上原治朗先生の力作をご本人のコメントも併せて紹介します。



1日目は最近国旗にハマっている娘のため、日独伊三国同盟弁当です。上段左に日の丸、右にオムライスに海苔をつけたドイツ、下にバジル(緑)、チーズクリーム(白)、トマトソース(赤)の3種の Pastaでイタリアです。



今日は娘が大好きなハートキャッチプリキュアをモチーフにした弁当を作りました。左からキュアムーンライト(紫)、キュアマリン(水色)、キュアサンシャイン(黄色)です。主役でピンク色のキュアブロッサムは時間とスペースの都合上、お休みです。紫色は紫キャベツの煮汁にハムをつけたもの。水色はその煮汁と卵白をあわせて焼いたものです。顔は魚肉ソーセージ。時間がなかったため顔はノッペラボウ。
娘から「ブロッサムがない」「顔をつけろ」「ふりかけをかけるところが少ない」等々のクレームが来ましたが「時間がないので我慢しなさい」と説得しました。細かい作業をする時に、メスと鑷子が欲しいと思いました。

※皮膚科医局(準)公式ブログより抜粋

病児一時預かり室・バックアップナース・病後児保育室・カウンセリング相談 【1月20日～2月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	登録者 38名	利用回数 1回
バックアップナース		稼働回数 10回
病後児保育室	登録者 90名	利用回数 4回
カウンセリング相談		利用回数 4回

* 病児一時預かり室・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます。

【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510
北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249
E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp
開設時間7時45分～18時00分



二輪草だより掲載記事は、ホームページからより詳しい内容をご覧いただけます。

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/homepagemain.html>